

地理科目における地理的特色や課題を考察する力の育成

—地理情報を地図化する技能や思考力・判断力・表現力を身に付ける場面の設定を通して—

特別研修員 地理歴史 中島 厚 (高等学校教諭)

～目指す生徒像～

地図から地理情報を読み取り、地理的特色や課題を考察することができる生徒

《手立て3》 自分の考えを表現する学習活動

考察内容を接続詞「なぜならば」を使い、80字程度で文章化する。

③ ②で読み取ったこと(特色や課題)は、なにが原因だと考えられるか。80字以内で文章化しよう。その際、文章と文章を「なぜならば」でつなげた2文で記述すること。

関東地方の割合が最も多い。なぜならば、交通手段や人口が多く集中しているからであり、大きな空港のある東京、大阪、福岡でも割合が多いからだと考えられる。

当初は箇条書きでしか表現できなかった生徒の85%が、根拠を挙げて文章にすることができた！

文章化

《手立て2》 地図の特徴を捉え、その要因を思考・判断する学習活動

- 自分で作成した統計地図から、地理的特色を読み取る。
 - 異なるデータ※から統計地図を作成した生徒同士でペアを組み、互いに情報交換をする。
- ※一方は都道府県別総人口に対する東京都への転出者の割合、もう一方は転入者の割合。
- お互いに読み取り内容や思考・判断した内容を検討し合う。

東京から離れるほど割合が小さくなるね！

東北地方と中部地方は似た傾向だね！

情報交換

《手立て1》 地理情報を地図化する技能を高める学習活動

- 凡例の数値の分け方や色使いを学び、データに合うものを検討する。
- 情報科教諭とTTで授業を実施する。

コンピュータを用いて統計地図を作成！

地図化

思考・判断

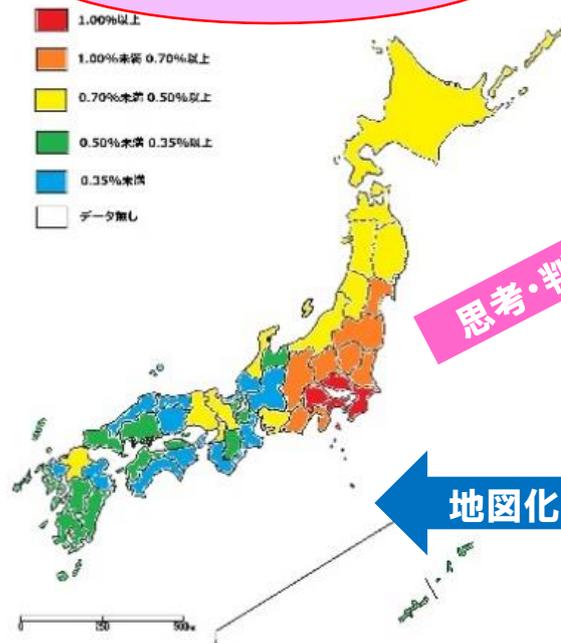


表 都道府県別総人口に対する東京都への転出者の割合(2015)

5年前の常住地	割合
北海道	0.54%
群馬県	0.75%
沖縄県	0.46%

地理情報データ
(平成27年度国勢調査より作成)

～生徒の実態～

地図の中に表れた様々な情報を読み取り、地域的な分布やその課題を考察することが苦手

成果

- 統計地図作成の技能を高めることで統計地図の特徴を捉えやすくなり、地理的特色や課題とその要因を考察しやすくなった。
- 実践を重ねるごとに、空間的により細かい点まで気付くことや根拠を挙げて文章にすることができる生徒が増え、思考力・判断力・表現力の高まりが認められた。

課題

- 手立て2の活動が十分でなかった生徒は、手立て3で文章表現の効果が得られない状況であったため、手立て2の活動を充実させる必要がある。